

科 目 名	地域福祉の理論と方法Ⅰ					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	倉 田 康 路						
開 講 年 次	4	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	本講義の目的はおおよそ次のとおりである。①地域福祉の理念および概念について理解する、②地域福祉の体系（内容）について理解する、③地域福祉の歴史的発展過程を辿りながらその意義について理解する、④地域福祉の現状・実態について理解する、⑤地域福祉の推進方法について理解する、⑥地域福祉の今後の課題について理解する。						
授 業 の 到 達 目 標	1）地域福祉とは何か、地域福祉の必要性や意義について説明できる。 2）地域福祉の理念について具体的に説明できる、 3）地域福祉をすすめていくための法律や制度およびシステムについて説明できる。 4）地域福祉を具体的にすすめていく展開方法について説明できる。 5）地域福祉実践活動の具体的な事例を紹介することができる。 6）地域福祉における社会福祉士と他職種との連携の在り方について説明することができる。 7）地域福祉の課題やあり方について考え、展望することができる。						
学 習 方 法	講義						
テキスト及 び参考書等	選定中						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	○	○	○	80		
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度	○	○	◎	○	10		
受講者の発表							
授業への参加度	○	○	◎	○	10		
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	地域福祉の理念と概念						
第 2 週	コミュニティと地域福祉						
第 3 週	地域福祉の体系（構成内容）						
第 4 週	地域福祉の発達Ⅰ（理念の発達）						
第 5 週	地域福祉の発達Ⅱ（地域福祉活動の発達）						
第 6 週	地域福祉の援助技術						
第 7 週	地域福祉の展開Ⅰ（在宅福祉サービスの意義・特徴・体系）						
第 8 週	地域福祉の展開Ⅱ（環境改善サービス）						
第 9 週	地域福祉の展開Ⅲ（組織化活動）						
第 10 週	地域福祉の展開Ⅴ（地域福祉計画）						
第 11 週	地域福祉の展開Ⅵ（福祉教育）						
第 12 週	地域福祉の展開Ⅶ（共同募金）						
第 13 週	地域福祉の供給主体（社会福祉協議会）						
第 14 週	地域福祉実践活動（社会福祉士と他職種との連携）						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	※出席回数が開講回数の2／3に満たない場合は評価の対象としない。 毎回の授業の予習と復習を各自で行っておくこと。						